

# 大阪府小児・AYA世代のがん患者支援事業補助金の メニュー見直しについて

令和6年度大阪府がん対策推進委員会  
第1回小児・AYA世代のがん対策部会

# 大阪府小児・A Y A世代のがん患者支援事業補助金のメニュー見直しについて

## 現状

- 第3期大阪府がん対策推進計画の「患者支援の充実」に係る項目として、「小児・AYA世代」への支援を位置づけ、小児・AYA世代のがん患者が治療を受けながら学習を継続できるよう、入院中の教育支援、退院後の学校・地域での受入れ体制等の実態把握に努め、必要な支援を検討することを定めたところ。
- 上記を踏まえ、令和2年度より補助金制度を創設したところ、これまでの実績は以下のとおりとなった。



## 大阪府小児・A Y A世代のがん患者支援事業補助金 交付決定件数

補助事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延べ件数
遠隔コミュニケーション環境整備事業	3件	3件	3件	4件	13件
復園・復学支援事業	1件	1件	0件	0件	2件
学習活動等支援事業	3件	2件	4件	3件	12件

# 大阪府小児・AYA世代のがん患者支援事業補助金のメニュー見直しについて（参考）

- : 遠隔コミュニケーション環境整備事業
- ▲: 復園・復学支援事業
- : 学習活動等支援事業

小児がんに係る指定種別	事業者名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小児がん拠点病院（国指定）	大阪市立総合医療センター	●	●	●	●
大阪府小児がん拠点病院（府指定）	大阪母子医療センター	●	▲	—	●
小児がん連携病院	大阪公立大学医学部附属病院	■	■	■	●
	大阪赤十字病院	■	■	■	■
	関西医科大学附属病院	—	—	■	■
	北野病院	—	—	●	—
—	大阪医科薬科大学病院	■	●	■	■
	大阪国際がんセンター	▲	●	●	●
	堺市立総合医療センター	●	—	—	—

# 大阪府小児・A Y A世代のがん患者支援事業補助金のメニュー見直しについて

## 課題

- 本事業の目的は「がん治療のために入院中または退院後自宅療養等で、復園・復学していない児童等のがん患者支援の充実」であるが、現行の補助メニューは学習の継続を主としていることから、苦痛症状を緩和するために大切とされている創造的な活動に対しては限定的な支援しか行うことができない状況となっている。

## 対応（案）

⇒児童等にとって大切な、学びと創造的な活動の双方を充実できるように以下のとおり補助メニューの見直しを行う。

### ① 現 補助メニュー（補助上限額）

#### 遠隔コミュニケーション環境整備事業（30万円）

- ・がん治療のため入院中又は退院後復学していない児童生徒を対象に、他の児童生徒等外部とのコミュニケーションを図るための機器整備等に要する経費

#### 復園・復学支援事業（10万円）

- ・病院独自の復学支援にかかる院内マニュアル等の作成に要する経費（印刷費や会議経費等）

#### 学習活動等支援事業（10万円）

- ①入院中の自主学習等を目的として購入する備品、図書等の購入費（図書費等）
- ②院内デイルーム等を充実するための備品、教材等の購入費

### ② 案 補助メニュー（補助上限額）

#### 遠隔コミュニケーション環境整備事業（30万円）

- ・がん治療のため入院中又は退院後復学していない児童生徒を対象に、他の児童生徒等外部とのコミュニケーションを図るための機器整備等に要する経費

#### 復園・復学支援事業（10万円）

- ・病院独自の復学支援にかかる院内マニュアル等の作成に要する経費（印刷費や会議経費等）

#### 学習活動支援事業（10万円）

- ・入院中の自主学習等を目的として購入する備品、図書等の購入費（図書費等）

#### その他患者支援事業（10万円） **NEW**

- ・がん治療のため入院中又は通院する児童等の苦痛の緩和に寄与する非薬物療法の提供体制の整備に要する経費（消耗需用費等）
- ・院内デイルーム等を充実するための備品、教材等の購入費